

## 第8回 多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会 要点記録

- 1 日時：令和2年1月29日（水）午後2時から午後4時
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席委員：浜田委員長、保坂副委員長、長倉委員、三輪委員、川村委員、松井委員
- 4 議題：レイアウト案について

### 1 開会

委員長 第8回目の多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会を開催する。

### 2 議題

委員長 本日の配布資料について、事務局より確認及び資料の説明をお願いしたい。

事務局 事務局より、配布資料の確認及び資料1に基づき記念誌作成のスケジュールについて説明を行った。

委員長 それでは、記念誌作成スケジュールについて、何か意見はあるか。  
(特になし)

委員長 それでは、次に資料2の内容について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。

財 団 多摩市文化振興財団より、資料2に基づき執筆状況について説明を行った。

委員長 今回は執筆状況として実際の原稿も配布された。執筆状況について、何か意見はあるか。

委 員 実際に提出された原稿を見て感じたことは二点ある。一つは語末についてですます調へ統一したい点、二つ目は物語調の部分「私は～」から始まる部分をどのように扱うのかの方向性を決める必要があるのではと考える。対応方法としては、当時の実際の居住者の声を大切にするためにそのまま残していくか、事務局で学術的な形に書き換えたもので執筆者の了承を得るようにするかになるのではないかと。

委 員 確かに長倉委員のおっしゃる通り、原稿を見たときに文体が解説のものと、実際の体験をかいたものの2種類がある。しかし体験を書いてくださった執筆者に対して書き直すのをお願いはしづらいのではないかと。項目として分かれば、体験を書いてくださったものもこのままで良いので

は考える。体験が書いてあるものは読んでみると、読み物として面白い印象である。

委員                    タイトルに括弧書きを加えて記載を分けるなどするとよいのではないか。例えばタイトルの後ろに（あるサラリーマンの入居の感想）という風にタイトル付をすることで文体が違うことについても違和感を減らすことができるのではないかと考える。

委員長                他の自治体では、基本的には研究者が書くので固い文調になるが、部分的にコラム風に市民の声を挟み込むという形はある。今回はいただいた原稿を生かす形で、体裁・レイアウトを変えるなどするのはどうか。デザインを替えれば、コラムとして見ることも出来ると考える。

副委員長             章立ては全体バランスなど基本的なスタンスは記念誌の根底に関わる部分なので記念誌編集委員会で決めてきた基本的な構成は守るべきである。ここまで決めてきた基本的な構成内容として見開き2ページであること、文末はですます調であること、写真や図をいれて見やすいものとする、400字という部分である。提出された原稿を活かすとしても一冊の本にする以上は、語調や書きすぎをどの程度直す、活かすかを委員会で判断し事務局で直すようにするので良いのではないかと考える。

委員                    一部原稿の中で人名表記は、研究者の方が執筆された原稿では敬称略となっており、市民の方が書いたものはさんとなっている。敬称略か氏など整えた方がよいのではないかと考えるがどうであるか。また存命の方の名前の場合は記念誌に記載をしても良いか本人の確認がいるのではないか。

委員長                確かに人名についてはルールを決めていなかった。公的刊行物であるため、人名を記載する場合は、本人の承諾が必要となろう。

委員                    統計の記載も確認する必要があるのではないか。現在原稿の中で記載のある割合や人口について「 年 月時点で %、 人」と記載するなどすべきではないかと考える。

副委員長             たしかに時点の記載は必要である。年代の表記方法についても、一つの冊子として整合性を取るためにも統一すべきである。また人物名について、歴史的人物以外は配慮が必要になるのではないか。

委員長                西暦表記を基本としているが、「昭和40年代」という表記は良いのではないか。執筆要綱に合わないものは事務局で整えるものとし、また人名については許諾をとることとする。

副委員長             原稿によってはわざわざ人名出さなくても良いと思われるものもある。

記述の内容に関係するために、記載をしたい人は残すなど対応の必要があるのではないか。

財 団 原稿によっては、新住民の活動に旧住民も協力して下さったという意味で記載しているのではと考えると、名前を意図があって出している部分もある。

委 員 記載されている名前の方も自分は知っている方だが、これを見た人がこの方々が何をした人かわからないと思われる。「元からいる方たち」の記載でも構わないだろう

委 員 長 たしかに個人名よりもどういう人かという属性情報が重要と思われる。また、規定の 400 字に対して 800 字等になっている部分は文字数の調整などする必要があるのでないか。

委 員 長 そのほか財団から確認したい事項はあるか。

財 団 中学生でも読みやすい記念誌として考えているが、現在の原稿は漢字が多い。読みやすさについて意見を聞きたい。

委 員 歴史の内容の部分は漢字が多くて読みにくいと感じる部分はある。

副委員長 400字に納めようとして専門用語が多くなってしまっている印象である。

委 員 長 他の記念誌では、ページの下部に脚注を入れていることもある。また生物の種名の列記がある部分については、生態や生活環境などの解説にするのがいいのではないか。

財 団 執筆者からは全体のイメージがしにくいとの声もあった。章構成は送付しているが、どのような文体でほかの方が記載しているかが見えないため、イメージしにくいのだと思われる。そのことを踏まえて、一部の原稿については一般的な人が読んでわかるものという趣旨を伝えて書き直しもらえる前提で調整をしている。

委 員 生き物について記載がある部分については、それがどこで見られるかわかるとわかりやすくなるのではないか。また、市民の暮らしについての記載は、当時の経緯があって今の多摩市があるという点ではとても興味深いのでなるべく残したい。

委 員 長 市民の当時の体験談の原稿がある「新しい暮らし」の部分だけ、レイアウトが変わる程度ならば変ではないのではないかと考える。

委 員 章立ての時にひとかたまりで該当部分だけ「エピソード集」とすると良

いのではないか。実体験をベースとしたもので、読み手にとっても面白い内容であり、今回の記念誌の目玉にもできるのではないかと思われる。

副委員長            タイトルに「体験談」をつけ、そのページをまとめてもいいのではない  
か。先頭にリード文が少しあるとわかりやすいだろう

財 団                コラムのような形にしてひとまとめにする形を想定する形で良いか。ま  
た初期入居の章についても「開発時の思い出」という部分がある。これに  
ついては「新しい暮らし」の部分と同じような扱いにするので問題ないか  
確認したい。

委 員 長            では、基本的に市民の物語も含め原稿を活かすものとし、文字数が多い  
ものや難しい用語については再検討いただくようにする。また体裁上、事  
実に基づく学術的な記載と、市民の思い出を分ける構成にする。また、で  
ある調の記載がある原稿は、ですます調で統一するものにする。

委 員 長            それでは、次に(3)レイアウト案（協議）に関して、事務局より説明を  
お願いしたい。

財 団                財団より、資料3に基づきレイアウト案に関して説明を行った。

委 員 長            レイアウト案について、何か意見はあるか。

副委員長            前回のものより、タイトルがすっきりして見やすくなった。また図につ  
いては説明文が必要と考えられる。原稿のキャプションのスタイルはキャ  
プションの文字数や写真の種類によっては、異なっても構わないので  
はないか。全体のキャプションの字数の統一をする必要はないのではない  
かと思われる。

委 員 長            キャプションは、レイアウトに問題がなければ、今回財団から提示され  
た通りとする。全体のレイアウトについて意見はあるか。

財 団                図の量によっては、左右に分けるものもあるので文章と図次第の部分  
がある。文字の見え方がページに対してびっしりとなる場合には、この委員  
会内で意見を伺う場合もあると思われる。また全体のレイアウトは400字  
を左のみにするか、左右にわけるとは文章次第と思われる。

委 員                左右で説明を分ける場合は段落の切れ目がいいのではないか。

委 員                できれば段落の切れ目がいいとは思いますが、もし自分は任意の場所  
が切れ目でも問題ないと思われる。またエピソードとトピックスはレイアウト  
を分けた方がいい。囲み記事でレイアウトを分けるように。思い出は背景色  
や自体・フォントを変えるなどキャプションは30字超えても項目立てす

ると見やすくなるのではないか。

財 団 エピソードの部分のレイアウトについては出来次第委員会に提出する。

委 員 長 では今出た意見をもとにエピソード部分のデザイン案を出して頂くものとする。

委 員 長 それでは、次に(4) 多摩市市制施行 50 周年記念誌地図製作に関して、事務局より説明をお願いしたい。

事 務 局 事務局より、資料 4 に基づき多摩市市制施行 50 周年記念誌地図製作に関して説明を行った。

委 員 長 多摩市市制施行 50 周年記念誌地図製作について、何か意見はあるか。

委 員 長 説明の通り、一章の部分に地図を入れることについては、A 3 より小さなサイズのマップを記念誌の中に差し込む形となる。

委 員 長 そのマップ上に記念誌の該当の記載があるならば問題ないのではないか。

委 員 長 街歩きマップは多摩市にはいくつかあるので問題ないと思う。

委 員 長 では、事務局の説明の通り付図は今回作成しないものとし、記念誌の中にマップを入れるものとする。

委 員 長 他に意見はあるか。特になければ、本日の議題については以上である。次に 3 その他について、事務局から何かあれば説明をお願いしたい。

### 3 その他

事 務 局 次回、第 9 回多摩市市制施行 5 0 周年記念誌編集委員会については、3 月開催予定である。

### 4 閉会